

津軽広域連合 連合だより

〒036-8276

弘前市大字樋の口町 260-4

TEL 0172-39-7200

FAX 0172-39-7201

Eメール tugarukoik01@net.pref.aomori.jp

ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>

携帯電話用 <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/p/index.htm>

平成16年6月 第14号 発行/津軽広域連合

津軽の 名人・達人バンク

生涯学習や地場産業などの指導にご協力いただける人材の情報を集めた「津軽の名人・達人バンク」は、地域の自主的な生涯学習活動の推進を目的として、平成13年4月に開設されました。

現在は、第2期(平成16年4月からの3年間)として、87名の方々にご登録いただいています。

第2期の開始にあわせて登録者名簿を一新し、圏域の小・中学校、公民館などの教育関係施設、市町村役場の生涯学習担当課、老人福祉センターなどの社会福祉関係施設、社会福祉協議会、農協などに配布しましたので、お近くの施設でご覧いただくことができます。

また、津軽広域連合のホームページでも検索が可能です。

各種講座や研修会などの講師をお探しの際は、圏域全体から人材を集め、多彩なメニューを提供している「津軽の名人・達人バンク」をぜひご利用ください。

インターネットで探すときは

<http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>

電話でのお問い合わせは

津軽広域連合総務課企画係 tel0172-39-7200

FM ジャイゴウェーブでは、「津軽の名人・達人」が番組に出演し、各人の得意分野の面白さを紹介しています。

放送時間：毎月最終水曜日 午後4時20分頃～

周波数：76.3MHz (FM)

名人・達人活躍日記

107 阿保 真由美さん

「親子でたのしくよさこいソーラン」(H15.11.24 常盤村ふれあい子育て講座)

参加した小学生「最初ドキドキして間違ったりしたけど、踊っていくうちにだんだんたのしくなり、なるこの音がちゃりんちゃりんとなき声のようでしたのしかったです。またさんかしたいです。」



名人・達人活躍日記

16 海老原 巽さん

「集会を楽しく」(H15.12.16 西目屋村高齢者教室「専門大学」)

高齢者教室学級長「今年の主な社会的出来事の解説、五重塔にまつわる村市地区からの心柱をはじめ、興味ある講話や、「王様のキャップ」の折り紙細工への取り組み等多彩な内容で、時間30分があつという間の楽しい時間を過ごすことができました。」



つがる観光ラリー好評開催中!

つがる観光ラリーは今年も好評開催中です。

4月20日にスタートしたこのラリーは、圏域内市町村にある56の施設のうち、それぞれのスタンプポイントでスタンプを押して同封の封筒で応募すると、抽選で各市町村の特産品などが当たるというものです。

スタンプが置いてあるポイントは、各市町村の中でも有名な観光・保養施設や産地直売所などが選ばれています。中には隠れた名所・名湯などもあり、今まで知らなかった意外な発見をすることもあります。

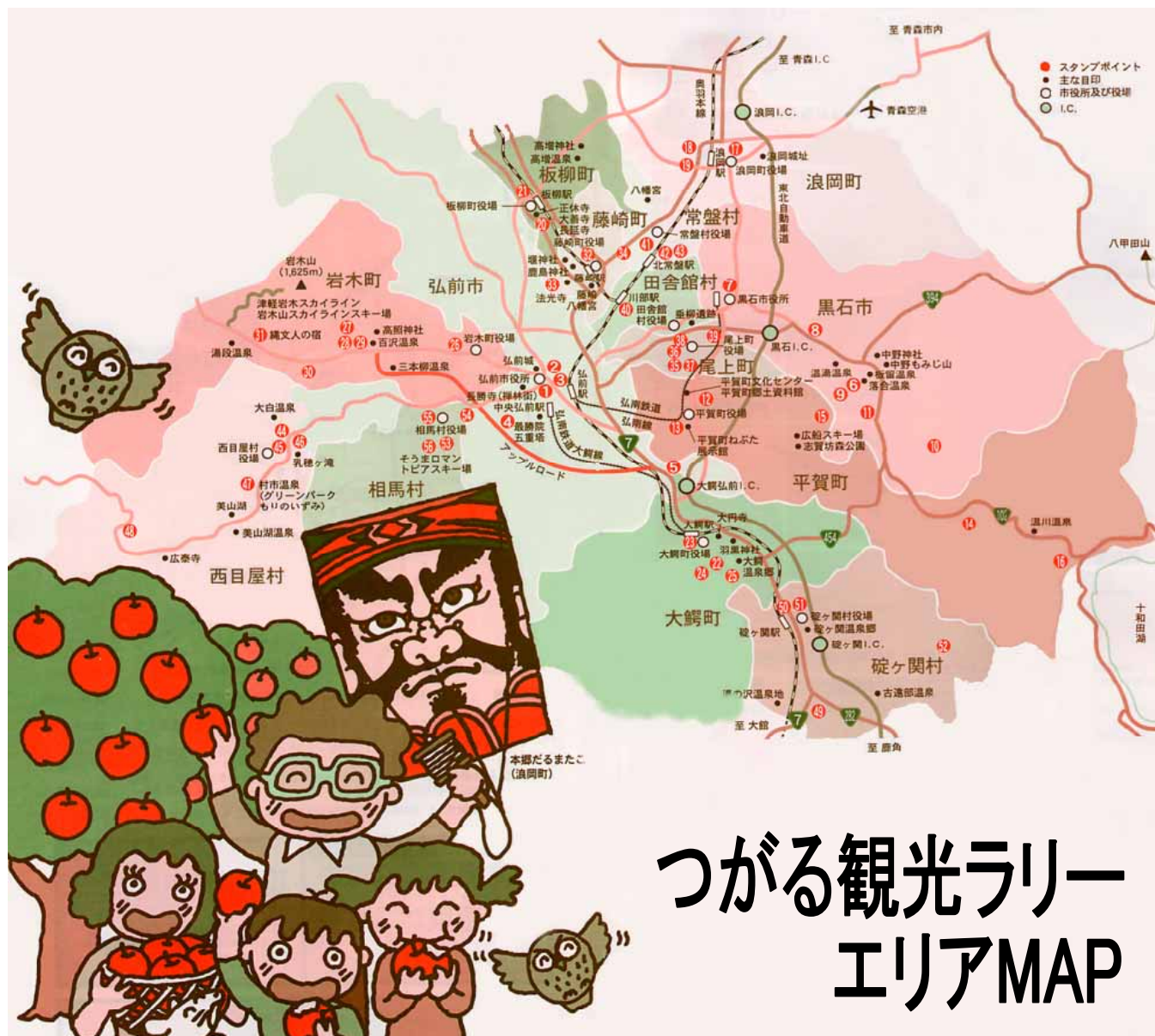
また、賞品も豊富に用意しており、応募していただいた方々の中から抽選で合計222名の方に、各市町村自慢

の特産品などがプレゼントされます。9月末日消印有効の中間賞などでは、津軽が誇る有名温泉の入浴券セットのほか特産品が当り、惜しくも抽選にもれた方でも年度末に再抽選のWチャンスがあります。

応募用紙(リーフレット)は、各スタンプポイント及び関係市町村の観光担当課に備え付けてあり、期間は来年1月31日までとなっています。

すぐ近くにあるんだけど、まだ行ったことがないというあなた。さあ、ご家族・ご友人と一緒に、つがる再発見の旅に出かけましょう!

皆さんからのご応募をお待ちしています。



応募方法/スタンプポイントまたは関係市町村の観光担当課に備え付けの応募用紙に、スタンプを押印してご応募ください。抽選で津軽にこだわった賞品が当たります。

A賞 市町村賞(112名)5市町村5個以上のスタンプで、14市町村の特産品。

B賞 完走賞(8名)14市町村14個以上のスタンプで、つがるロマン10kg。

C賞 パーフェクト賞(5名)14市町村56個すべてのスタンプで、圏域内特選施設のペア無料宿泊券。

D賞 フレンドシップ賞(28名)5市町村5個以上のスタンプで、りんご5kg。県外からの応募者が対象で9月末日消印有効。選外の方は年度末に再抽選のチャンス。

E賞 中間賞(51名)5市町村5個以上のスタンプで、津軽の有名温泉の無料入浴券・施設の無料入場券または14市町村の地酒セット。9月30日消印有効。選外の方は年度末に再抽選のチャンス。

F賞 とっておきの津軽大賞(14名)3市町村3個以上のスタンプと、あなたがラリー参加時に感じた「とっておきの津軽」を感じさせる絵画、写真、エッセイ、短

歌、俳句、川柳、詩などで、14市町村の特産品。

G賞 ふるさと賞(4名)5市町村5個以上のスタンプと、スタンプポイントでのお買い上げレシート(合計金額1,000円以上)で、特産品。9月30日消印有効。選外の方は年度末に再抽選のチャンス。

応募締切/平成17年1月31日当日消印有効。ただし、D賞(フレンドシップ賞)、E賞(中間賞)、G賞(ふるさと賞)は、9月30日消印有効。

ご応募は、お1人様1通とさせていただきます。

有料施設でのスタンプ押印にあたっては、300円以上のお買い上げまたは入浴券購入のご協力をお願いします。

スタンプポイントでのスタンプ押印を忘れた方は、ポイントでのお買い上げレシート(1,000円以上)を同封し、押印欄にその旨を明記していただくことで、スタンプ押印と同等とします。

スタンプポイントによって、押印できる日時が決まっています。詳しくは応募用紙をご覧ください。

16年度歳入歳出当初予算

		科目	予算額	構成比(%)
歳入		分担金及び負担金	163,559	91.43
		財産収入	800	0.45
		繰入金	14,500	8.10
		諸収入	30	0.02
		計	178,889	100.00
歳出	目的別	議会費	1,735	0.97
		総務費	61,150	34.18
		介護保険費	114,631	64.08
		基金積立金	800	0.45
		公債費	66	0.04
		予備費	507	0.28
		計	178,889	100.00
	性質別	人件費	149,231	83.42
		物件費	21,561	12.05
		補助費等	6,724	3.76
		公債費	66	0.04
		積立金	800	0.45
		その他	507	0.28
			計	178,889

連合の財政

平成16年5月31日に公表した津軽広域連合の財政状況をお知らせします。(金額の単位:千円)

財産の現在高 (平成16年3月31日現在)

基金	ふるさと市町村圏基金	1,001,851
	財政調整基金	15,560
	計	1,017,411
物品	自動車	1台

15年度歳入歳出予算の執行状況(平成16年3月31日現在)

		科目	予算現額	執行済額			執行率(%)
				4~9月	10~3月	計	
歳入		分担金及び負担金	184,294	184,294	0	184,294	100.00
		財産収入	831	0	830	830	99.88
		繰入金	23,384	0	23,384	23,384	100.00
		諸収入	35	51	21	72	205.71
		計	208,544	184,345	24,235	208,580	100.02
歳出	目的別	議会費	4,292	2,128	854	2,982	69.48
		総務費	68,669	29,449	30,492	59,941	87.29
		介護保険費	134,179	48,794	66,329	115,123	85.80
		基金積立金	831	0	830	830	99.88
		公債費	66	0	0	0	0.00
		予備費	507	0	0	0	0.00
		計	208,544	80,371	98,505	178,876	85.77
	性質別	人件費	149,545	68,252	67,559	135,811	90.82
		物件費	31,055	8,996	7,057	16,053	51.69
		維持補修費	37	0	37	37	98.71
		補助費等	26,503	3,123	23,022	26,145	98.65
		公債費	66	0	0	0	0.00
		積立金	831	0	830	830	99.88
		その他	507	0	0	0	0.00
		計	208,544	80,371	98,505	178,876	85.77

介護認定審査会

- ・平成16年度 全体会を開催
- ・介護認定審査会ってなあに？
- ・平成15年度 市町村別の審査判定状況

平成16年度全体会を開催

平成16年度介護認定審査会全体会が4月3日(土)ホテルニューキャッスルにおいて、委員108名が参加して開催されました。

会議ではまず、新任委員の代表へ辞令が交付されました。新任委員は全体会に先立って県高齢福祉保険課介護保険グループの館山主事、木村主事を講師に研修を受けており、幾分緊張した面持ちで辞令を手にしていました。

次に審査会会長の辞任に伴い新会長を選出、新会長は委員の互選によって^{たむらみずお}田村瑞穂氏が、会長職務代理者は会長の指名により^{くどうたかし}工藤隆士氏がそれぞれ選任されました。

その後、各審査分会への所属が決定し、委員は各分会に分かれて分会長の決定などについて話し合いました。

また、介護認定事務の一部見直し(認定有効期間の拡大、審査会の運営に係る軽減)等について事務局から説明があり、委員は熱心に耳を傾けていました。

市町村別の審査判定状況

(平成15年度)

介護認定審査会ってなあに？

Q.どんな人が委員になっているの？

A.津軽広域連合介護認定審査会では現在、150名の委員が、5名ずつ30の分会に分かれて審査判定業務を行っています。

委員は医療(精神科医、歯科医師を含む医師、薬剤師)保健(看護師、保健師、老健施設関係者、理学療法士、作業療法士、柔道整復師)、福祉(老人福祉施設関係者、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士)、三分野の各団体から推薦された方で構成されています。

ほとんどの審査分会は委員がそれぞれの仕事を終えた夕方頃から始まります。事前に配布される資料をもとに判定し、被保険者(介護認定を申請した人)の介護度と有効期間が決定されます。(写真は審査会の様子)



	弘前市	黒石市	平賀町	浪岡町	板柳町	大鰐町	岩木町	藤崎町	尾上町	田舎館村	常盤村	西目屋村	碓ヶ関村	相馬村	介護度別合計
非該当	157	6	27	7	61	4	8	6	3	2	4	2	4	3	294 (1.3)
要支援	2,877	175	474	210	449	70	106	112	123	58	67	24	32	47	4,824 (22.0)
要介護1	3,544	565	540	348	454	236	203	214	154	208	138	48	61	71	6,784 (30.9)
要介護2	1,588	347	225	172	179	168	125	93	67	89	52	21	45	38	3,209 (14.6)
要介護3	1,156	267	173	118	122	112	130	90	59	46	36	20	40	32	2,401 (10.9)
要介護4	1,007	224	127	126	105	110	89	65	66	63	37	11	29	27	2,086 (9.5)
要介護5	1,097	262	175	151	82	122	108	66	69	65	54	19	30	30	2,330 (10.6)
再調査	19	4	2	2	1	1	2	4	1	1	1	0	1	0	39 (0.2)
市町村別合計	11,445 (52.1)	1,850 (8.4)	1,743 (7.9)	1,134 (5.2)	1,453 (6.6)	823 (3.7)	771 (3.5)	650 (3.0)	542 (2.5)	532 (2.4)	389 (1.8)	145 (0.7)	242 (1.1)	248 (1.1)	21,967 (100.0)

単位は件、()内は%